

問22 防災対策や避難行動の情報源

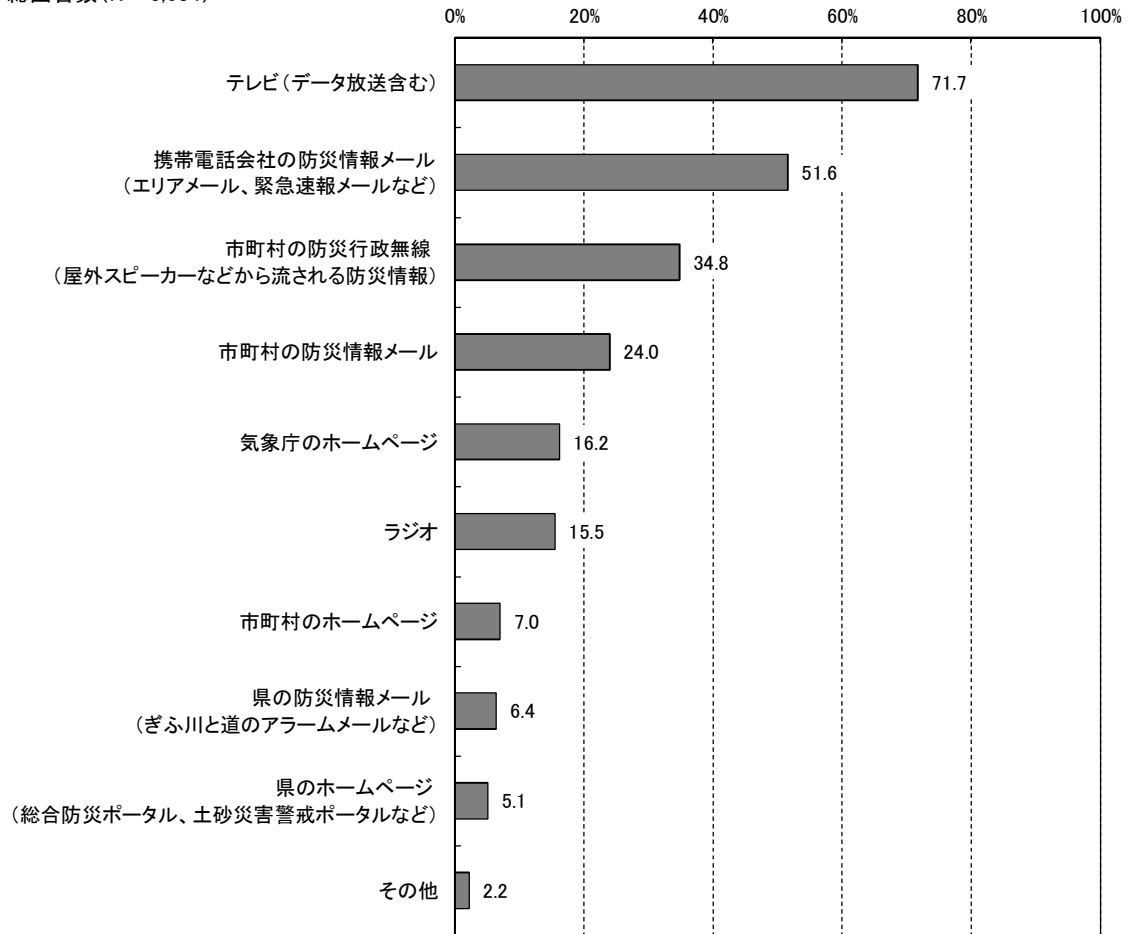
問22 あなたは、台風や集中豪雨発生時に、防災対策や避難行動に役立つ情報を何によって知ることが多いですか。(いくつでも)

全体(図22-1)で見ると、「テレビ(データ放送含む)」が71.7%と最も高く、次いで「携帯電話会社の防災情報メール(エリアメール、緊急速報メールなど)」(51.6%)、「市町村の防災行政無線(屋外スピーカーなどから流される防災情報)」(34.8%)の順となっている。

図22-1 防災対策や避難行動の情報源

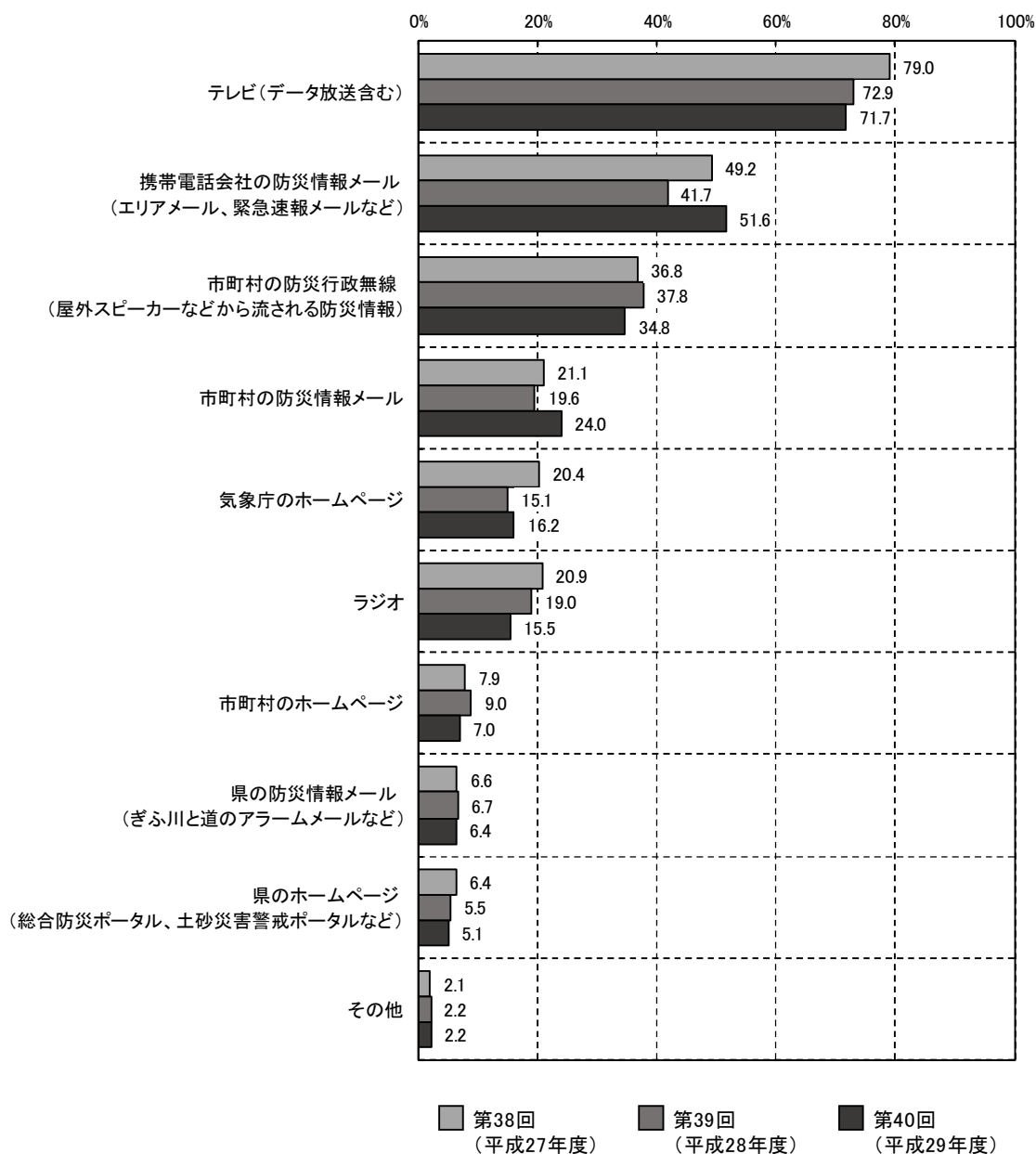
回答者数(n = 1,522)

総回答数(N = 3,584)



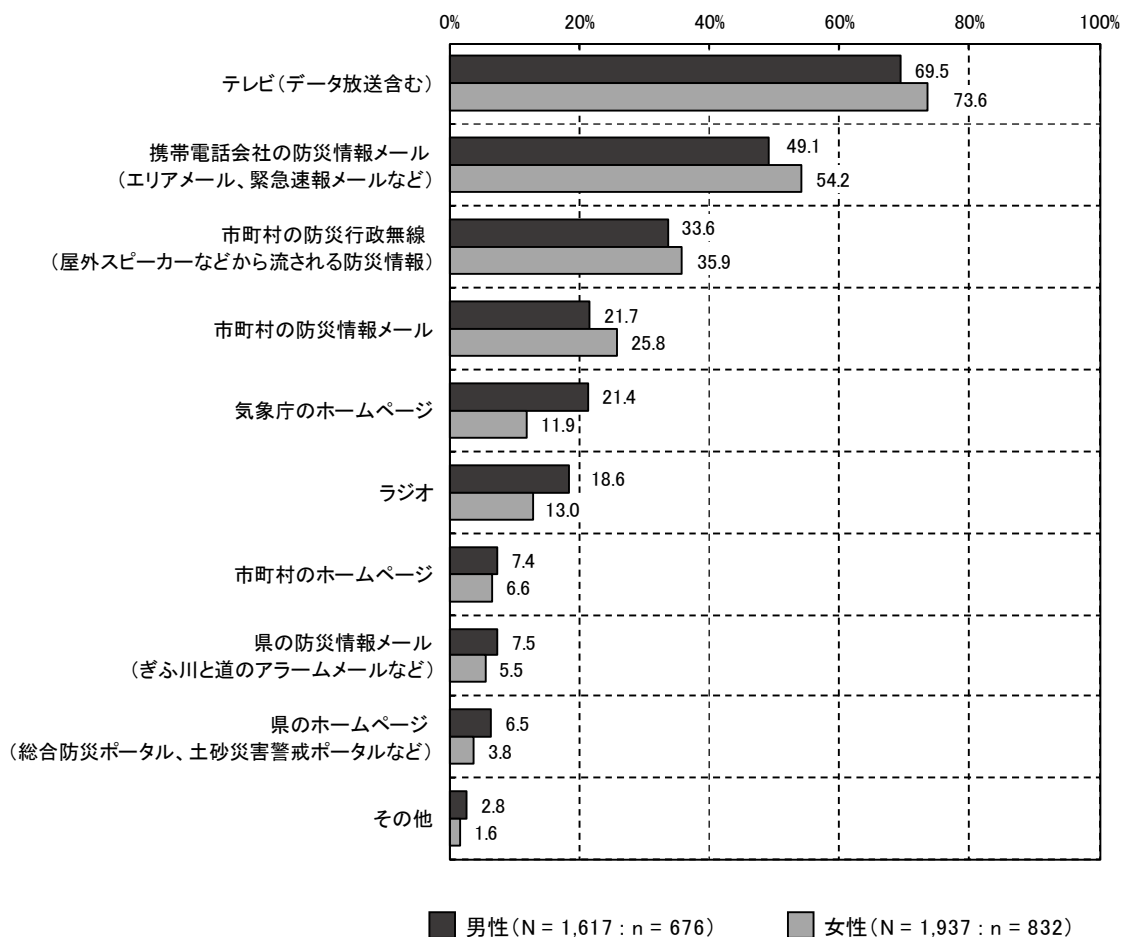
前々回・前回比較（図 22-2）で見ると、前々回・前回と同様に「テレビ（データ放送含む）」が最も高いが、前回と比べて1.2ポイント減少している。「携帯電話会社の防災情報メール（エリアメール、緊急速報メールなど）」では、前回と比べて9.9ポイント増加している。

図 22-2 【前々回・前回比較】 防災対策や避難行動の情報源



性別（図 22-3）で見ると、男女ともに「テレビ（データ放送含む）」が最も高く、男性が 69.5%、女性が 73.6%となっている。「携帯電話会社の防災情報メール（エリアメール、緊急速報メールなど）」では、女性が男性より 5.1 ポイント、「気象庁のホームページ」では、男性が女性より 9.5 ポイント、それぞれ高くなっている。

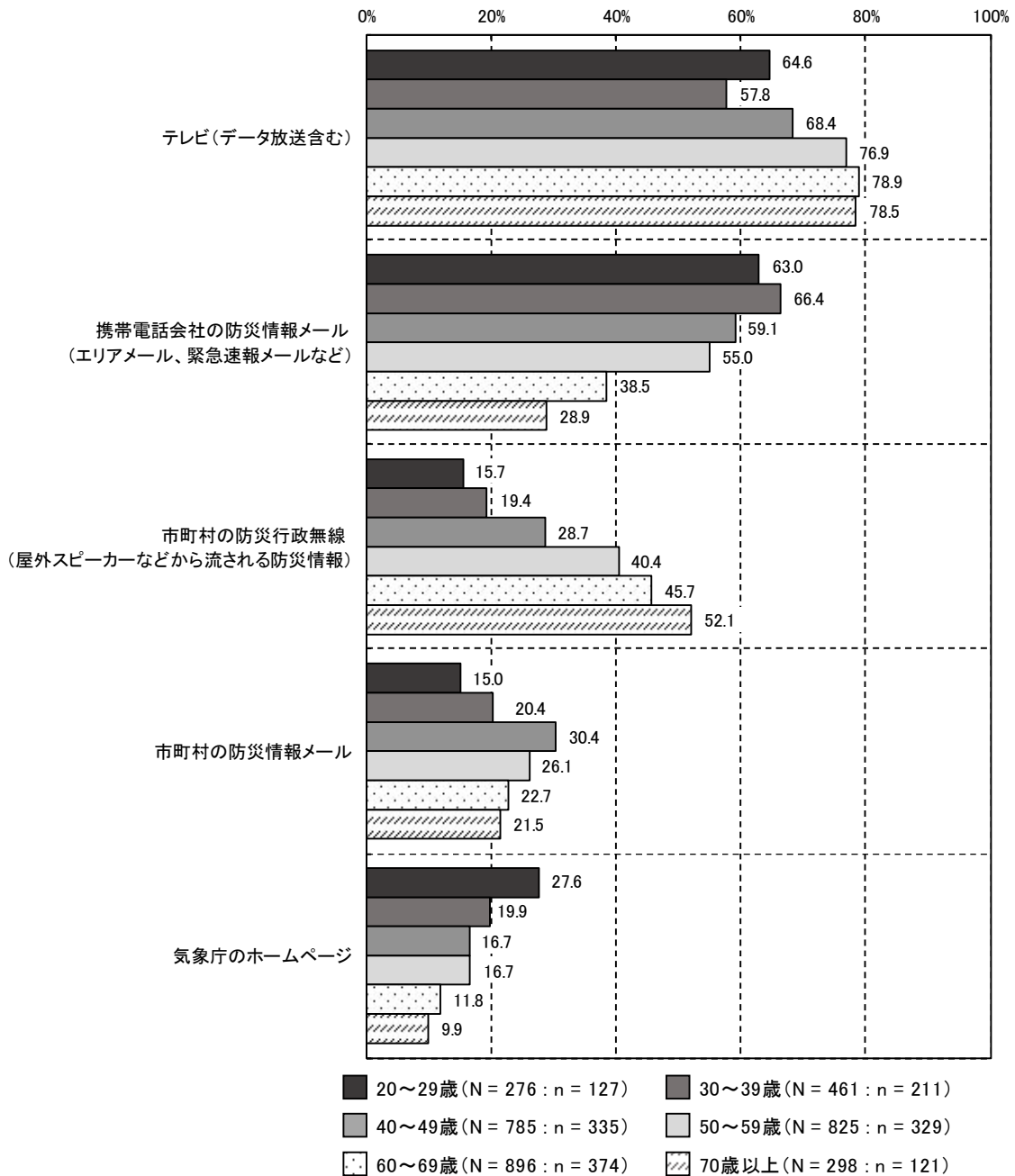
図 22-3 【性別】 防災対策や避難行動の情報源



※ N=総回答数 n=回答者数

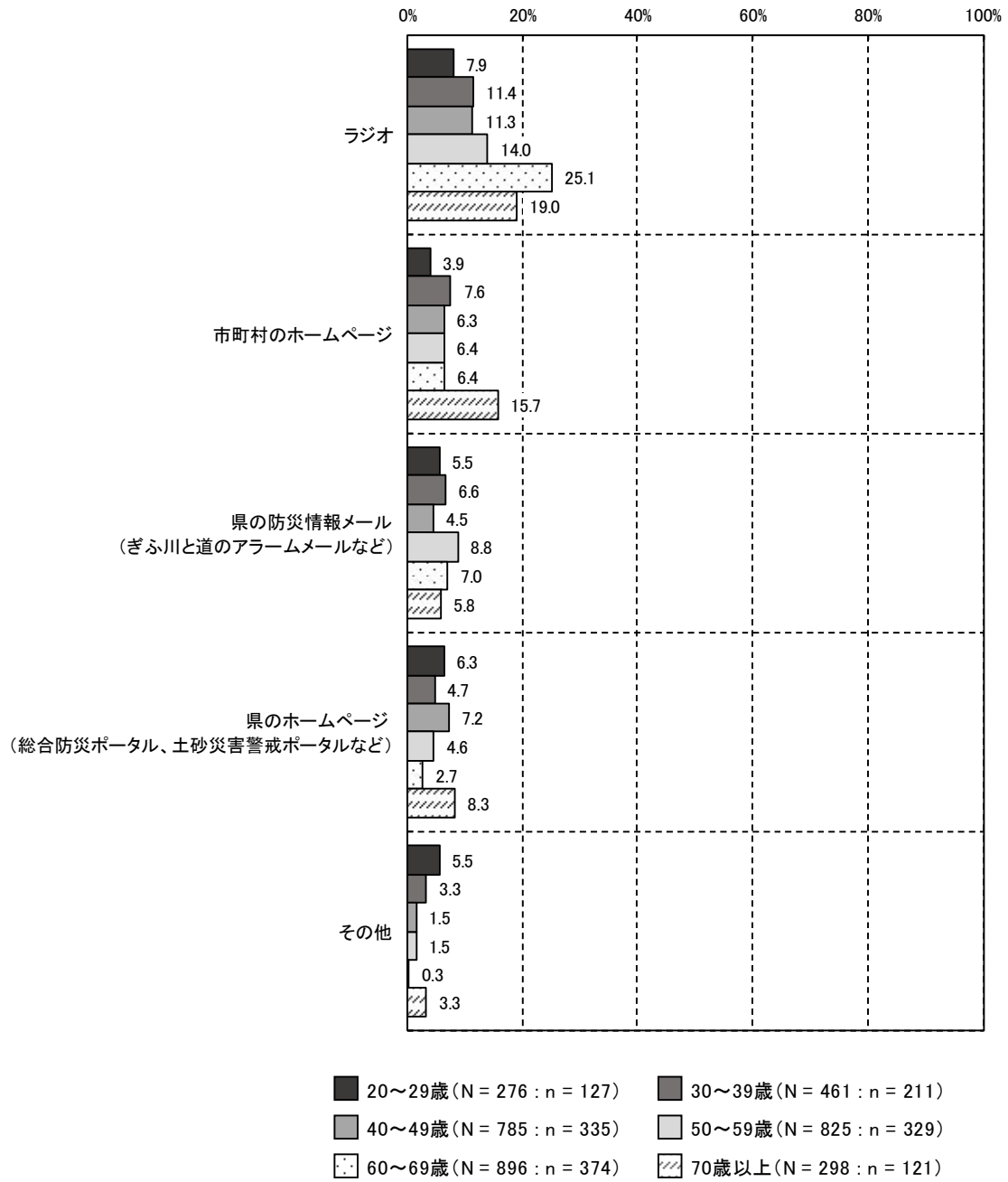
年代別（図 22-4）で見ると、30 歳代を除くいずれの年代においても「テレビ（データ放送含む）」が最も高く、そのうち 60 歳代が 78.9%と最も高くなっている。30 歳代では「携帯電話会社の防災情報メール（エリアメール、緊急速報メールなど）」が 66.4%と最も高くなっている。

図 22-4 【年代別】 防災対策や避難行動の情報源



※ N=総回答数 n=回答者数

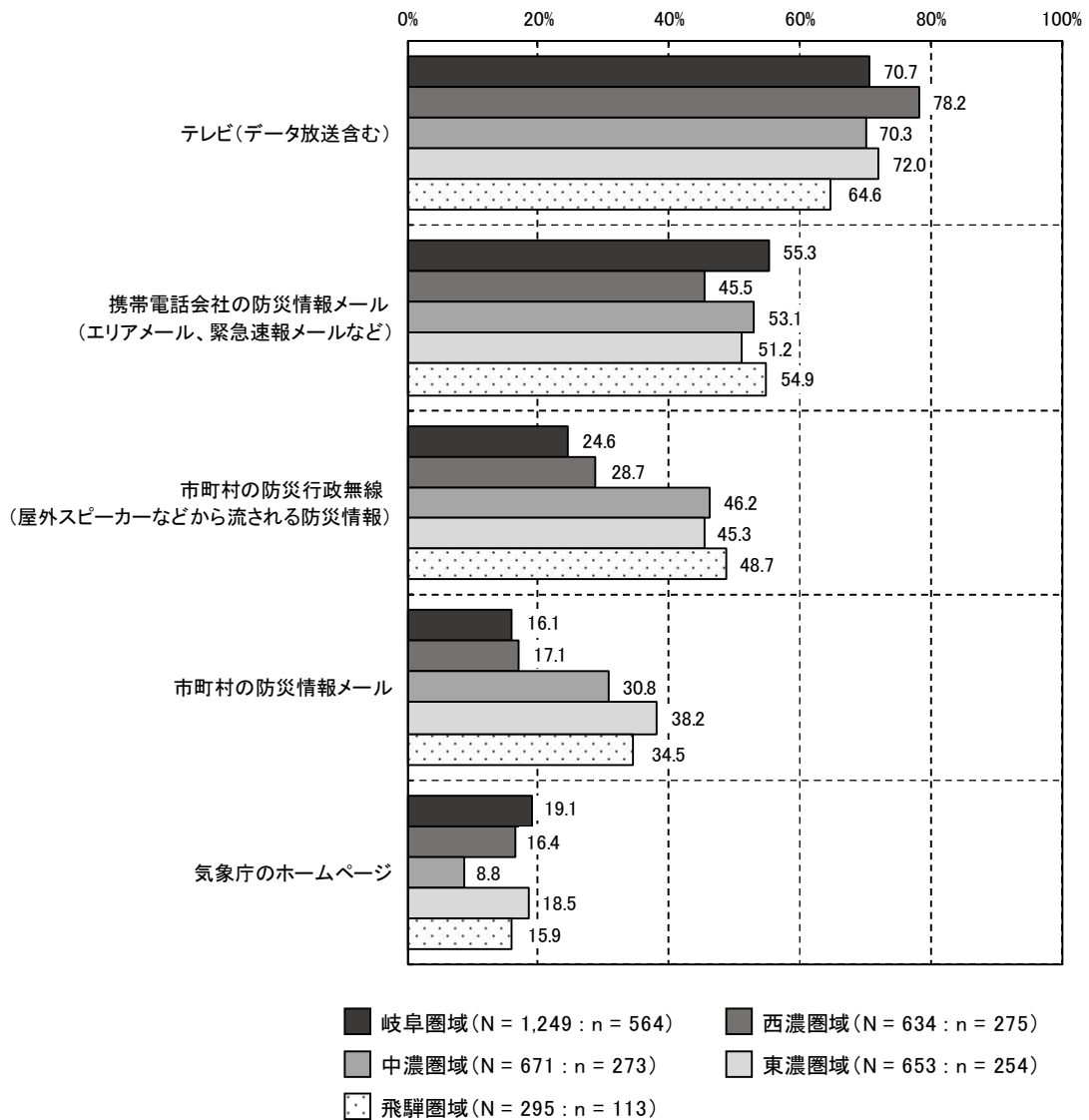
図 22-4 【年代別】 防災対策や避難行動の情報源 (続き)



※ N=総回答数 n=回答者数

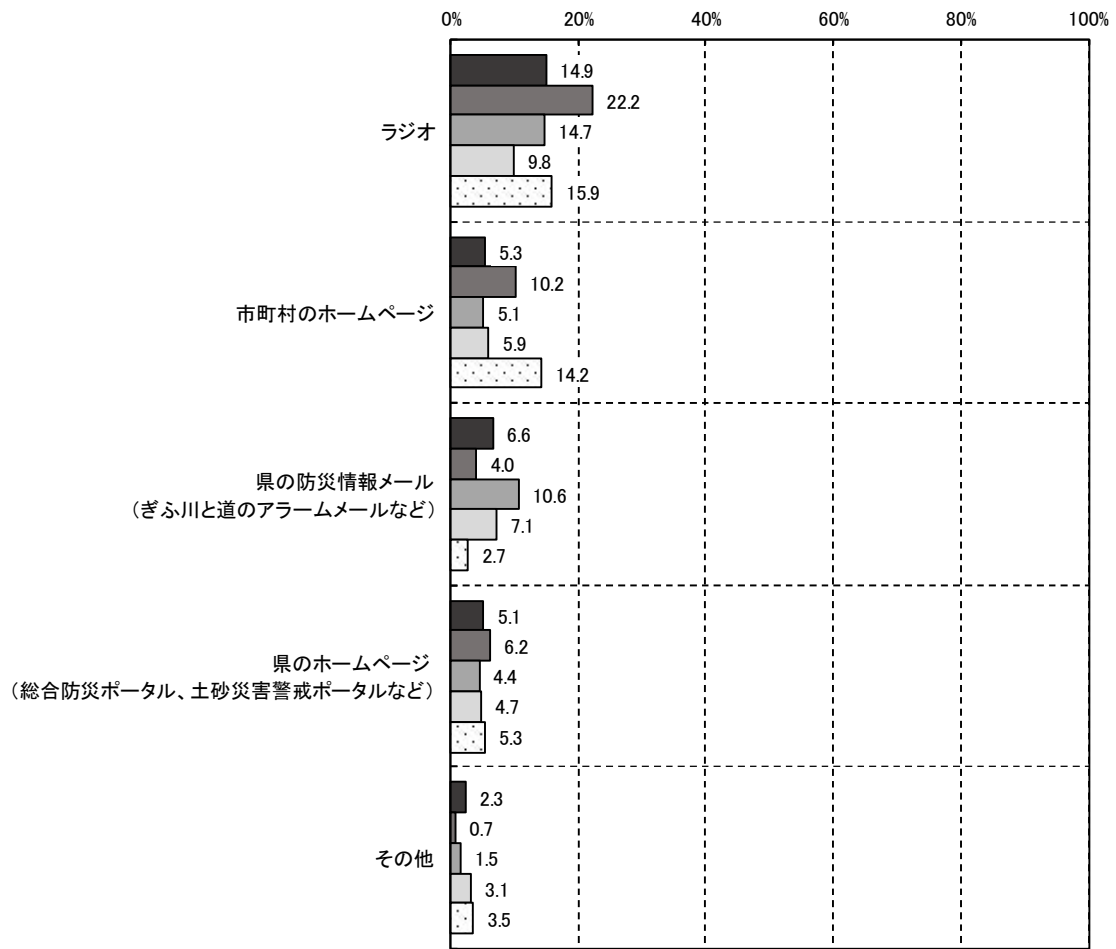
居住圏域別（図 22-5）で見ると、いずれの居住圏域においても「テレビ（データ放送含む）」が最も高く、そのうち西濃圏域が78.2%と最も高くなっている。

図 22-5 【居住圏域別】 防災対策や避難行動の情報源



※ N=総回答数 n=回答者数

図 22-5 【居住圏域別】 防災対策や避難行動の情報源（続き）



■ 岐阜圏域 (N = 1,249 : n = 564) ■ 西濃圏域 (N = 634 : n = 275)
 ■ 中濃圏域 (N = 671 : n = 273) ■ 東濃圏域 (N = 653 : n = 254)
 ■ 飛騨圏域 (N = 295 : n = 113)

※ N=総回答数 n=回答者数